

越生うちわ



越生うちわの発祥

暑い夏に自分だけの風で涼を手に入れてみるのはいかがでしょう？今月号の特集では、越生名物のひとつである越生うちわを特集します。

いつの頃から越生がうちわの特産地になったのかは不明ですが、明治9年刊行の『武蔵国郡村誌』の越生村の物産項目に「団扇四十二万本」とあり、また、明治44年2月4日の『埼玉新報』には「毎年二百四十万本内外の産出額」とあります。明治初年には、すでにうちわ製造が盛んであり、それ以前の江戸時代には、うちわを作り始めていたことが推測されます。

古代中国から伝わったうちわは、当初は貴族の間で使われた儀礼用や装飾用のものが主で、庶民の間に広まったのは、竹細工と紙の製造が発達した江戸時

代になってからです。うちわは、夏の間、涼をとるのみでなく、ガスが家庭に普及するまでは、火あおぎ用として四季を通じて日常に欠かせないものでした。

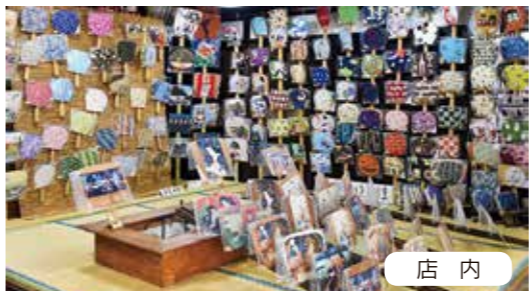
製作過程

越生うちわは、柄の部分に「肩竹」という一直線の竹を差し込む「一文字」と呼ばれる独特の形で親しまれていました。良質な竹の切り出しに始まるうちわ作りには、大きく三つの工程があります。①切った竹を割いて「ほさき」を作り、柄に「肩竹」を差し込む。②紙紐で編んで骨にする。この際、高い位置で編み込むことによりあおいだ時に強い風が起こせる。③骨に紙を貼り、周囲を切って仕上げ

る。
※洪うちわは③のうちわに柿渋を塗ります。二度重ね塗りを



うちわ工房しまの5代目島野夫妻



店内



伝統的な洪団扇

して完成です。柿渋を塗ることにより水に強く、耐久力のあるものができます。

うちわ作り体験

①うちわのデザインを決めます。



▲市販の手拭いをカットしてデザインで使用

▼うちわのデザインに使用する押し花

③うちわの余分な骨を切り取ります。



▲うちわの周囲を切る作業は危ないので店主にお任せ

④仕上げに周りの縁の部分に和紙を張ります。



▼縁に和紙を張る様子

⑤乾燥させて完成です。



完成しました!!

②和紙、骨、デザインをノリ付けて乾燥させます。



どれにしよう~

▲刷毛で優しく押して、乾燥させます

日々心掛けていることばっ。全ての工程の積み重ねで強いうちわができます。なので、一つ一つの工程を丁寧に作ることを心掛けています。

島野さんに質問

うちわ工房を継ぐきっかけは？
ものを作るのが好きで子どもの頃からうちわ作りを手伝っていました。4人兄弟の中で商売向きだったことと、うちわ屋に生まれた宿命も感じて継ぎました。

うちわ作り体験は有料で案内しています。詳しくは問までお問い合わせください。
問うちわ工房しまの
☎2922-2273
☎2922-5975

仕事で大変な事は何ですか？

山の竹が良いので山に切りに行くと、急斜面も有り大変です。竹の材料を切りに行く時、昔は上谷や龍ヶ谷で仕入れていました。最近は、ときがわ町に行っています。竹は放置すると良い竹が出てこないのです、竹林の管理も行います。

何か伝えたい事はありますか？

浴衣を着た女の子達がうちわを買ってくれるので、夏祭りをやって欲しいです。最近はBBQやキャンプ用に洪うちわを購入していく方が多いです。火あおぎ用なので役に立つと思います。

コロナ禍で来る方が減りましたが、少しずつ戻ってきています。落ち着いたら毎年二月に開催している囲炉裏ライブをやりたいです。みなさん是非来てください。



▲5代目店主の島野博行さん